

真和志町獅子頭 見学会

沖縄戦のさなか、那覇市首里真和志町の獅子頭を手にする米兵隊員
1945年4月（沖縄県公文書館所蔵）



▲現存していた真和志町獅子頭

戦前の獅子頭 発見、里帰り！

沖縄戦で焼失したといわれていた真和志町の戦前の獅子頭が、実際は従軍した当時の米兵に持ち去られていたことが昨年11月13日の沖縄タイムスで報道され(写真左)、真和志町獅子舞保存会がその行方を捜していましたが、5月に米兵の娘がアメリカの自宅で保管していたことがわかりました(写真右、娘から送られてきた写真)。まるで物語のようなこの歴史的な大発見のあと、所有者(米兵の娘)との交渉の結果、快く無償で真和志町へ返還してくれることになり、5月29日に無事里帰りを果たしました。

獅子の専門家の間でも戦前の首里の獅子頭が現存していたことは大変意義あることだといわれています。真和志町自治会では下記の日程で里帰りした獅子頭の見学会を開催したいと思います。

記

1. 日 時：令和5年6月18日(日) 午後2時～午後4時
2. 場 所：首里公民館展示室(3階)
3. 入場料：無 料
4. 内 容：セレモニー(主催者挨拶など 午後2時)
里帰りした獅子頭の現物の展示があります
真和志町の獅子頭の特徴や返還の経緯などのパネル
展示があります
舞台では真和志町獅子舞保存会の演舞(午後2時30
分と3時30分)があります
5. 駐車場：公民館の駐車場は利用できません(側に「首里公民館
前」バス停留所があります)。

■主 催 首里真和志町自治会 (問い合わせ ☎ 090-2585-7191)